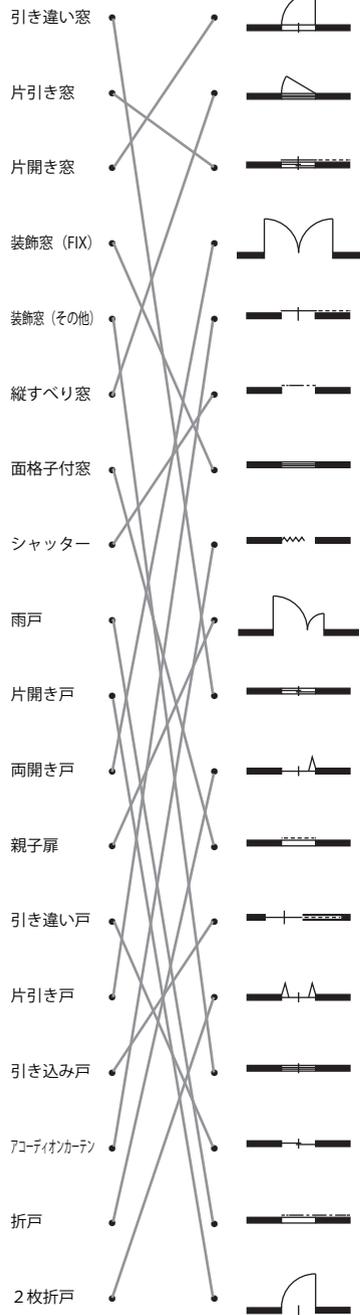
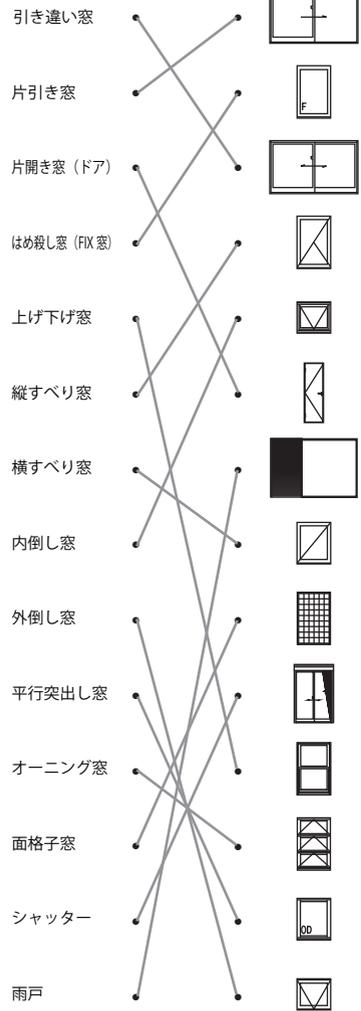


間取り図記号合わせクイズ パート1 【解答】

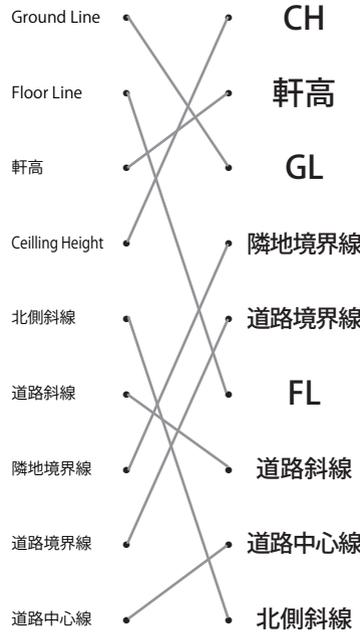
平面図



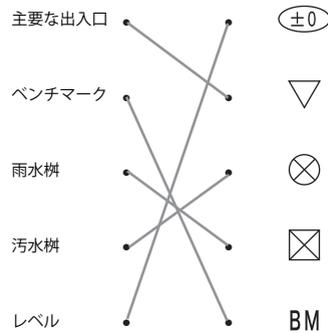
立面図



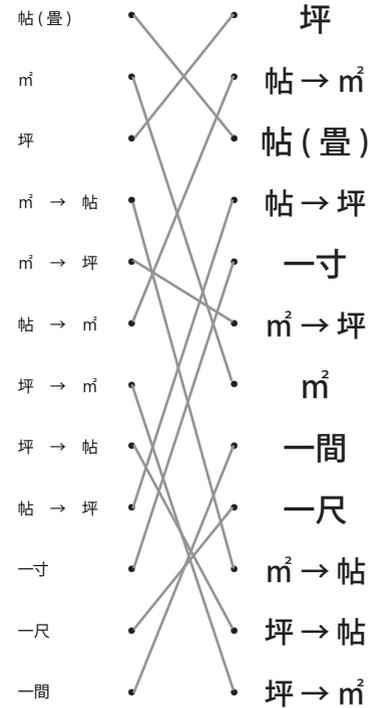
断面図



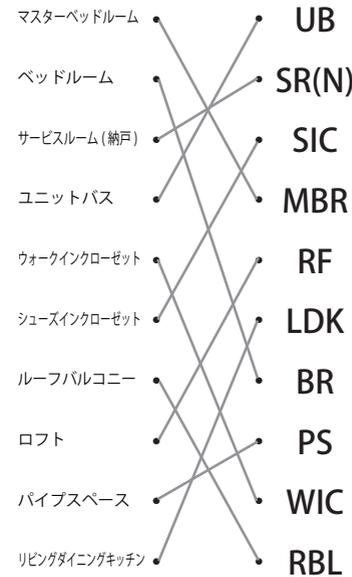
配置図



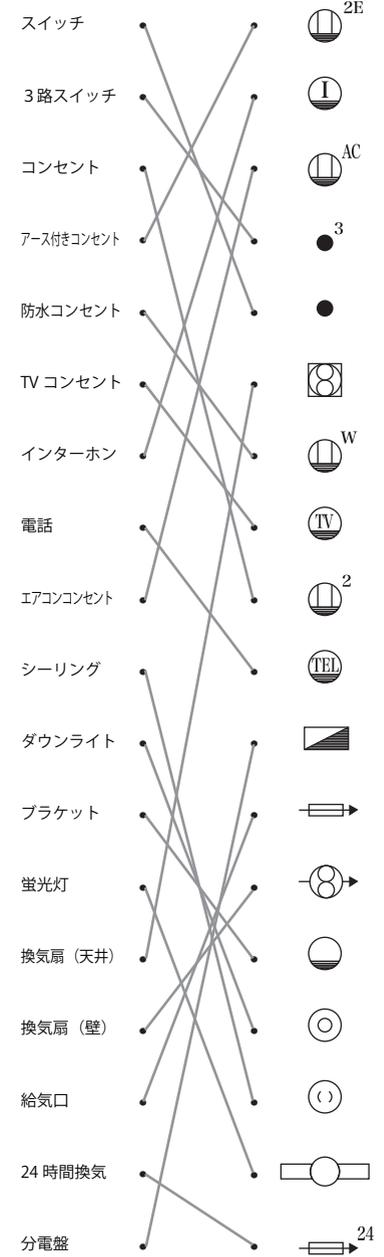
部屋の広さ 計算方法



部屋名・スペース名



電気記号



間取り図記号合わせクイズ パート2 【解答】

平面図

引き違い窓 片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や壁の場合に用いられる窓です。片方ののみで開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。

片引き窓 採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由で飾り的な要素もありません。

片開き窓 採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由で飾り的な要素もありません。片方ののみで開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。

装飾窓 (FIX) 窓などの開口部に取り付けられた格子のこと。台所、トイレ、浴室の窓や外に置いた扉など、防犯のために取り付けられる事が多いようです。

装飾窓 (その他) 左右 2 枚の戸が開閉するタイプの戸。人の出入りが多いところや、大きな荷物を持ち入れが必要な場所に用いられます。

縦すべり窓 戸をスライドさせて壁の中に引き込みタイプの戸。開閉するためのスペースは少なくすみますが、引き込むための場所が必要となります。

面格子付窓 左右 2 枚のガラス戸をスライドして開閉する窓。最も一般的な形式で、採光・採光にも有効です。

シャッター 左右 2 枚の戸をスライドして開閉する戸。押し入れの戸などに見られ、3 枚や 4 枚の戸で構成する場合もあります。

雨戸 窓の上部に設置されたレールに沿って、窓を内側 (室内側) にすべり出させて開けるもの。

片開き戸 左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、採光・採光にも有効です。

両開き戸 一枚の引き戸を、溝やレールの上滑らせて開閉する戸。開けたときに扉が折れ曲がる。すきととの隙を減らすことで、気密性や水密性が高いといわれています。

親子扉 窓枠の上下に設置されたレールに沿って、窓を外側 (室外側) にすべり出させて開けるもの。

引き違い戸 採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由で飾り的な要素もありません。

片引き戸 開いたときに折りたためるタイプの戸で、2 方向に開く戸が 2 枚付いています。フローリングなどにすべり出させられます。

引き込み戸 防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、縁側・窓などの外側に取り付けられます。

アコーディオンカーテン 開いたときに折りたためるタイプの戸。開くためのスペースがあまりない場所 (浴室) などに用いられます。

折戸 幅の小さい金属板をすたれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。

2 枚折戸 2 枚のドア幅が小さくなる開閉タイプ。自動開閉折戸をロックして開く。折戸のみを開閉して折戸を部分的に使用するのですが、大きな荷物を持ち入れが必要な部屋は折戸が不利な場合があります。

立面図

引き違い窓 採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由で飾り的な要素もありません。

片引き窓 ハンドルを押すと窓が 10cm ほど外側に出る形式。風が直接入らず、換気がスムーズに入ります。

片開き窓 (ドア) 上下にスライドして開閉する窓。上下 2 枚とも開くダブルハングと片方だけ開くシングルハングがある。場所を取らずに採光・通風が確保できる。

はめ殺し窓 (FIX 窓) 窓の下部を軸として、窓の上部を外側 (室外側) に倒して開けるもの。

上げ下げ窓 左右 2 枚のガラス戸をスライドして開閉する窓。左右どちら側も開く事ができ、換気・採光にも有効です。

縦すべり窓 片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や壁の場合に用いられます。片方ののみで開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。

横すべり窓 左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、採光・採光にも有効です。

内倒し窓 幅の小さい金属板をすたれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。

外倒し窓 窓枠の上下に設置されたレールに沿って、窓を外側 (室内側) にすべり出させて開けるもの。

平行突出し窓 窓などの開口部に取り付けられた格子のこと。台所、トイレ、浴室の窓や外に置いた扉など、防犯のために取り付けられる事が多いようです。

オーニング窓 複数の小窓を連結し、ハンドル操作で開閉する窓。水平に重ねた複数の縦向きガラス板をハンドル操作で開閉する (ルーバー型) と比べて、緻密性や水密性が高いといわれています。

面格子窓 窓の下部を軸として、窓の上部を内側 (室内側) に倒して開けるもの。内倒し窓の閉鎖し、窓外側にのみ出るので、隣合建物との関係が狭い場所にも取り付け可能です。

シャッター 防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、縁側・窓などの外側に取り付けられます。

雨戸 窓を室外側に押し出して開けるタイプの窓。窓枠の左右に溝があるため、すべり出すことができます。窓ガラスが底面よりなるため、雨の日も窓が閉じられます。

断面図

Ground Line 敷地と敷地の境界線のこと。

Floor Line 敷地と敷地の境界線のこと。

軒高 北側斜線制限とは、南側にある建物の高さを利用して、北側の敷地の日照や通風を確保するものです。

Ceiling Height CH=Ceiling Height の略称です。Ceiling とは天井のこと、Height とは高さのことです。CH=2.00 と取るとそれは天井高さ 2.4メートルあるという意味です。

北側斜線 FL=Floor Line (フロアライン) の高さを指します。この道路の中心線から北側に引かれた線が北側斜線です。2FL=1 階フロアライン、3FL=2 階フロアライン

道路斜線 道路の位置を定める際の線となる中心線のこと。この道路の中心線から南側に引かれた線が道路斜線です。道路の幅員を指します。道路の幅員は 4m (特定用途地域は 5m) となっています。幅員が 4m に満たない場合、敷地に道路境界線を寄せる必要があります。

隣地境界線 道路の日照などを確保するため、建築物の高さを、前道路の反対側境界線を起点とする一定角度の斜線の線、この道路斜線を出発して、建築物を建てることはできません。

道路境界線 柱の上部をつなぐために木材を削ぐ必要があり、設計上の高さ (GL) から約 100mm の差が生じます。2 階の軒天までを、採光の軒高といわれ、建築基準法の階高の基準となる。

道路中心線 GL=Ground Line (地上) の高さ、又はその高さを表示線のこと。

配置図

主要な出入口 ±0、+100 等の表記になります。BM を基準とした敷地のレベルを表します。レベル 1=1mm。

パンチマーク 屋根を結ぶための雨水配水管の接続箇所や配管の合流点、配水管の分岐点や排水の配管が変化するところ、道路と敷地との項目付近 (最終的に、排水設備の維持管理のために設ける場所)。

雨水樹 BM=Bench Mark の略で、敷地や建物の高さの基準レベルを指します。BM は、施工時の基準マークになるため、勘違いの恐れがあります。必ずマーカーなどでそれになります。

汚水樹 日常的に人が出入りする場所のこと。

レベル 家庭から出る汚れた水。接続箇所や配管の合流点、配水管の分岐点や排水の配管が変化するところ、道路と敷地との項目付近 (最終的に、排水設備の維持管理のために設ける場所)。

部屋の広さ 計算方法

帖 (畳) 一尺=30.3cm (一寸の 10 倍)
三 尺=90.9cm (約 91.0cm→910mm)。一般的な関東間の住宅の寸法基準。910 モジュールと呼ばれる。
 $m^2 = 1.65$
 m^2 から帖数を知りたい場合の計算方法。1.65 m² ÷ 1.65 = 1帖 (畳 1枚分)

坪 坪 × 2
坪数から帖数を知りたい場合の計算方法。1坪 × 2 = 2帖 (畳 2枚分)
一間=1.8182m (尺の 6 倍) 六尺
畳の長い方の辺の長さ、ふすま 2枚分の長さ。

帖 → 坪 一寸=3.03cm (一尺の 1/10)、3.03cm × 10 = 30.3cm → 一尺

帖 → m² 帖 ÷ 2
帖数から坪数を知りたい場合の計算方法。2帖 ÷ 2 = 1坪 (一般的な住宅の U.B. 洗面室の広さ)

坪 → m² m × m で求める面積の単位。
一般的な関東間の住宅で考えられる。1.82m (一間) × 0.91m (半間) = 1.65 m² (1帖)、1.82m (一間) × 1.82m (一間) = 3.31 m² (1坪)

坪 → 帖 坪 × 0.3025
坪数から m² を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積 → 30.25坪 × 0.3025 = 100 m²

帖 → 坪 帖 × 1.65
帖数から m² を知りたい場合の計算方法。1帖 × 1.65 = 1.65 m² (1帖は 1.65 m²)

一寸 1坪=約 3.31 m² (畳 2枚分)
一般的な住宅の UB (ユニットバス) や洗面室の広さ。

一尺 m² × 0.3025
m² から坪数を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積 → 100 m² × 0.3025 = 30.25坪

一間 1帖=1.65 m² 畳 1枚分の広さ。
一般的な住宅のトイレやクローゼットの広さ。畳のサイズは縦横、直線、マンションサイズなどがありそれぞれ異なります。

電気記号

スイッチ 壁についているコンセントの記号です。数字の「2」は差し込み口が 2 つあるコンセントのこと。

3 路スイッチ コンセント記号の横の「E」はアース (Earth=接地線) を表しています。

コンセント コンセント記号の横の「W」があるときは、防雨防水のコンセントになります。W は water の頭文字。

アース付きコンセント シーリングライトを設置できる場所の記号。天井に設置されている。

防水コンセント インターホンのある外と、家の外で対応するスイッチがある場所に使う記号。

TV コンセント この記号は、蛍光灯がある場所を表しています。天井に設置されています。

インターホン 3 路スイッチとは、1 つの照明を 2 か所のスイッチで ON/OFF できるスイッチのこと。

電話 この記号ではブラケットライトのある場所を表しています。ブラケットライトとは、壁に取り付けられている照明のこと。

エアコンコンセント 室内の壁にある換気口の記号です。外からの空気が入り入れます。

シーリング テレビを見るために必要なコンセントです。

ダウンライト 電話に使うコンセントの場所を表しています。電話の室内配線の参考にすることが多いです。

ブラケット エアコンを設置するとき、壁に使うコンセントの記号。壁の高い場所にあることが多い。

蛍光灯 家のなかにある分電盤を表す記号です。名称通り、電気の配線、使用量や電圧の管理をします。

換気扇 (天井) 部屋の電気など、壁に付いているパチッと押すタイプのスイッチの記号。

換気扇 (壁) 24 時間換気する換気口を表す記号です。外気を室内に取り入れます。

給気口 壁に設置されている換気扇を表しています。居室には、換気設備を設置する必要があります。

24 時間換気 ダウンライトを表す記号。ダウンライトとは、天井にめ込まれている小型の照明のこと。

分電盤 天井に設置されている換気扇のある場所を表しています。キッチンやお風呂場、トイレなどに設置されます。

部屋名・スペース名

マスターベッドルーム サービスルーム (納戸)。採光基準を満たさない部屋。居住空間として認められていない部屋。多目的ルーム、スペアルーム、フリールームなど。

ベッドルーム ロフト、屋根裏部屋を表す。天井の高い部屋で 2 階のようなスペース。

サービスルーム (納戸) シューズインクローゼット。玄関にある広い収納で、靴やスキー・ゴルフ用品なども収納できます。

ユニットバス マスターベッドルーム。「主寝室」を表します。洋室のうち最も広さの広い部屋とされます。

ウォークインクローゼット リビング (居間)、ダイニング (食事室)、キッチン (台所) の意味で、玄関・食事室・台所が一体となった空間。

シューズインクローゼット バイパススペース、トイレ、キッチン、U.B.、洗面室から流れる配管を収納するスペース。

ルーバーバルコニー ウォークインクローゼット。お風呂に設置され、人が中を歩けるほどの広さを確保した収納です。

ロフト ベッドルーム。「洋室」を表します。

バイパススペース 部屋の真上にある階下の戸の扉の部分を利用したバルコニーのこと。

リビングダイニングキッチン ユニットバス。あらかじめ現場で天井や浴槽、壁、床などのパーツを造っておき、それらを現場で組み立てていくバスルームのこと。通常の浴室より施工が早い。

間取り図記号合わせクイズ パート3 【解答】

平面図

片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や壁の場合に用いられる窓です。片方の窓のみを開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。

左右どちらか一方に開閉するタイプの戸。壁幅のついているほうを片元と呼びます。

採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由に取り回す必要もありません。

窓などの開口部に取り付けられた格子のこと。台所、トイレ、浴室の外や内面に設置するなどに、防犯のために取り付けられることが多いです。

採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓です。デザインや大きさはある程度自由に取り回す必要もありません。また、防犯・遮音・遮光などを目的とし、緑画・窓などの外側に取り付けられます。

戸をスライドさせて壁の中に引き込みタイプの戸。開閉するためのスペースは少なくともありますが、引き込むための場所が必要となります。

左右 2 枚の戸が開閉するタイプの戸。人の出入りが多いところや、大きな荷物の出し入れが必要な場所に設けられます。

左右 2 枚のガラス戸をスライドして開閉する窓。左右どちら側も開く事ができ、換気・採光にも有効です。

左右 2 枚の戸をスライドして開閉する戸。押し入れなどの戸にも見られ、3 枚や 4 枚の戸で構成される場合もあります。

左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、通風・採光に有効です。

家賃のアーコーディオンのように伸縮しながら開閉するカーテン状の建築。

窓枠の上下に設けられたレールに沿って、窓を外側 (室外側) にずり出すことで開けるもの。

一枚の引手棒、滑り・スレの上滑り防止を開閉する戸。開けたときには防犯にならない。すずり出しの印象を弱くしてくれます。玄関や室内の出入り口の扉などに使われています。

幅の小さい金属板をすたれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。

防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、緑画・窓などの外側に取り付けられます。

2 枚のドア幅が大小異なる開閉ドア。日常時はドアをロックしておき、前ドアのみを開閉して片側ドアに開閉するのですが、大きな荷物の出し入れが必要な際は両ドアも開け利用することができます。

開いたときに折りたためるタイプの戸で、2 方向に開く戸が 2 枚付いています。クローゼットなどに使われます。

開いたときに折りたためるタイプの戸。開くためのスペースがありません。浴室などに用いられます。

立面図

窓枠の上下に設けられたレールに沿って、窓を外側 (室外側) にずり出すことで開けるもの。

左右どちらか一方に開閉するタイプの窓。最も一般的な形式で、通風・採光に有効です。

窓の下部を軸として、窓の上部を内側 (室内側) に倒して開けるもの。内部側へのみ開閉し、室外側にはみ出さないで、壁や天井との間隙が狭い場所にも取り付け可能です。

窓の下部を軸として、窓の上部を外側 (室外側) に倒して開けるもの。

防犯、断熱、遮音、遮光などを目的とし、緑画・窓などの外側に取り付けられます。

片側がはめ殺し窓 (FIX 窓) や壁の場合に用いられる窓です。片方の窓のみを開閉するため、引き違いと比べて機能面ではやや劣ります。

上下にスライドして開閉する窓。上下 2 枚とも開くダブルハンクと片方だけ開くシングルハンクがある。場所を取らずに採光・通風が確保できる。

幅の小さい金属板をすたれ状に組み合わせた、巻き込むことのできる戸。

窓などの開口部に取り付けられた格子のこと。台所、トイレ、浴室の外や内面に設置するなどに、防犯のために取り付けられることが多いです。

複数の小窓を連結し、ハンドル操作で開閉する窓。水平に重ねた複数の細長いガラス板をハンドル操作で開閉する「ルーバー」型と比べて、視覚性や水密性が高いといわれています。

ハンドルを押すと窓が 10cm ほど外側に突出する形式。風が直撃すると、換気がスムーズに行える。

左右 2 枚のガラス戸をスライドして開閉する窓。左右どちら側も開く事ができ、換気・採光にも有効です。

窓を室外側に押し出して開けるタイプの窓。窓枠の左右に溝があるので、すずり出すことができます。窓ガラスが乾くようになるため、雨の日も窓が濡れられます。

採光・眺望を目的として取り付けられる開閉できない窓。デザインや大きさはある程度自由に取り回す必要もありません。

断面図

柱の上部をつなぐために母す木材を桁より、設計上の地盤 (GL) から桁の床面までの距離を軒高という。2 階の桁天高まで、採光の軒高といわれ、建築基準法の規格の基準となる。

GL=Ground Line (地上面) の高さ。又はその高さを表す線のこと。

CH=Ceiling Height の略称です。Ceiling とは天井のこと、Height とは高さのことです。CH=2.00 と書いてあれば天井高さ 2.4メートルあるという意味です。

道路の位置を定める際の基準となる中心位置のこと。この道路の中心線に境界線を割り当てます。道路中心線が状況の道路の幅の中心位置を通るとは限らない。

敷地と道路の境界線のこと。敷地と道路の境界線は境界を示しています。建築基準法では原則、道路幅員は 4m 指定の道路幅員は 5m 以上となります。幅員が 4m に満たない場合は、敷地側に道路境界線を寄せる必要があります。

FL=Floor Line (フロアライン) の略で、床仕上げの上端面のレベルを指します。FL=1 階フロアライン、2FL=2 階フロアライン

道路面の日照を確保するため、建築物の高さ、前面道路の反対側境界線を起点とする一定距離の斜線の高さの制限を設け、敷地と建築物を建てるとはできません。

北側斜線制限とは、南側にある建築物の高さを制限して、北側の敷地の日照や通風を確保するものです。

敷地と敷地との境界線のこと。

家庭から出る汚れた水。接続箇所や配水管の合流地点。配水管の曲がりや水が配管から漏れること、道路と敷地との項目付近 (最終排水、排水設備の維持管理のために設ける穴。

庭壁を越えてからの雨水配水管の接続箇所や配水管の合流地点。配管の曲がりや水が配管から漏れること、道路と敷地との項目付近 (最終排水、排水設備の維持管理のために設ける穴。

BM=Bench Mark の略で、敷地や建築物の高さの基準レベル点を指します。BM は、施工時の基準マークになるため、勘定しないことを推奨します。マニカールなどそれぞれに異なります。

±0、+100 等の表記になります。BM を基準とした敷地のレベルを表します。レベル 1=1mm。

日常的に人が出入りする場所のこと。

部屋の広さ 計算方法

帖 (畳) m^2

m^2 から坪数を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積 $\rightarrow 100 m^2 \times 0.3025 = 30.25$ 坪

坪 $\times 2$

坪数から帖数を知りたい場合の計算方法。1 坪 $\times 2 = 2$ 帖 (畳 2 枚分)

坪 $m^2 \rightarrow$ 帖

帖 $\times 1.65$

帖数から m^2 を知りたい場合の計算方法。1 帖 $\times 1.65 = 1.65 m^2$ (1 帖は 1.65 m^2)

一階 $\rightarrow 1.8182m$ (尺の 6 倍) 六尺

畳の長い方の辺の長さ、ふすま 2 枚分の長さ。

$m^2 \rightarrow$ 坪

m^2 から坪数を知りたい場合の計算方法。1.65 $m^2 = 1$ 帖 (畳 1 枚分)

m^2 から m^2 で求めた面積の単位。一般的な敷地面積の住宅で考えられる 1.82m (一階) $\times 0.91m$ (半間) $= 1.65 m^2$ (1 帖)、1.82m (一階) $\times 1.82m$ (一階) $= 3.31 m^2$ (1 坪)

帖 $\rightarrow m^2$

帖 $\rightarrow m^2$

帖数から坪数を知りたい場合の計算方法。1 帖 $\times 2 = 1$ 坪 (一般的な住宅の UB、洗面室の広さ)

1 帖 $\rightarrow 1.65 m^2$ 畳 1 枚分の広さ。

一般的な住宅のトイレやクローゼットの広さ。畳のサイズは関東圏、京畿圏、マシジノタイプなどがありそれぞれ多少異なります。

一尺 $\rightarrow 30.3cm$ (一寸の 10 倍)

三 尺 $\rightarrow 90.9cm$ (約 91.0cm $\rightarrow 910mm$)。一般的な開閉式住宅の寸法基準。910 モジュールと呼びます。

1 坪 \approx 約 3.31 m^2 (畳 2 枚分)

一般的な住宅の UB (ユニットバス) や洗面室の広さ。

一寸 $\rightarrow 3.03cm$ (一尺の 1/10)。
 $3.03cm \times 10 = 30.3cm =$ 一尺

坪 $\times 0.3025$

坪数から m^2 を知りたい場合の計算方法。一般的な住宅の敷地面積 $\rightarrow 30.25$ 坪 $\times 0.3025 = 100 m^2$

部屋名・スペース名

MBR ロフト、屋根裏部屋を表す。天井の高い部屋の中 2 階のようなスペース。

BR リビング (居間)、ダイニング (食事室)、キッチン (台所) の意味で、居間・食事室・台所が一体となった空間。

SR(N) ユニッドバス。あらかじめ工場で作成済みのユニットバスを現場で組み立てていくバスルームのこと。通常の浴室より施工が早い。

UB マスターベッドルーム。(主寝室) を表します。洋室のうち最も広いものが主寝室と呼ばれます。

WIC ベッドルーム。「洋室」を表します。

SIC パイプスペース、トイレ、キッチン、UB、洗面室から流れる配管を収納するスペース。

RBL ウォークインクローゼット。お風呂に設置され、人が中を歩けるほどの広さを確保した収納スペース。

RF サービスルーム (納戸)。採光基準を満たしていない部屋。居室として認められていない部屋。多目的ルーム、スバルーム、フールームなど。

PS 部屋の直上にある階下の戸の屋根部分を利用したバルコニーのこと。

LDK シューズインクローゼット。玄関にある広い収納で、靴やスキー、ゴルフ用品なども収納できます。

電気記号

コンセント記号の横の「E」はアース (Earth=接地線) を表しています。

壁に設置されている換気扇を表しています。居室には、換気設備を設置する必要があります。

コンセント記号の横の「W」があるときは、防雨防湿のコンセントになります。W は water の頭文字。

壁についてのコンセントの記号です。数字の「2」は差し込み口が 2 つあるコンセントのこと。

インターホンのある外と、家の 2 箇所に対するスイッチがある場所に使う記号。

シーリングライトを設置できる場所の記号。天井に設置されている。

3 路スイッチとは、1 つの照明を 2 か所のスイッチで ON/OFF できるスイッチのこと。

この記号は、蛍光灯がある場所を表しています。天井に設置されています。

室内の壁にある換気口の記号です。外からの空気を取り入れます。

部屋の電気など、壁に付いているパッチと押すタイプのスイッチの記号。

電話に使うコンセントの場所を表しています。電話の室内記録の参考とすることができ。

テレビ用のコンセントの記号。テレビを見るために必要なコンセントです。

家のなかには分電盤を表す記号です。電圧降下を抑制し、使用量や漏電の管理をします。

エアコンを設置するとき使用するコンセントの記号。壁の高い場所にあることが多い。

24 時間換気する換気口を表す記号です。外気を室内に取り入れます。

この記号ではブラケットライトのある場所を表しています。ブラケットライトとは、壁に取り付けられている照明のこと。

天井に設置されている換気扇のある場所を表しています。キッチンやお風呂場、トイレなどに設置されます。

ダウンライトを表す記号。ダウンライトとは、天井に埋め込まれている小型の照明のこと。